

平成31年度事業報告
(平成31年9月1日～令和2年8月31日まで)

特定非営利活動法人 Swing-By

1. みやざき子ども未来奨学金関連プロジェクト

宮崎県の子どもの貧困に関する連携推進協議会の委託を受けて、奨学生の募集・決定と奨学生のアフターフォローを担うとともに、支援するおとなとして活動を始めた奨学生を支援した。

奨学生募集に対し2名が希望し、うち1名が辞退し、2020年度の奨学生は1名であった。2020年8月31日現在、奨学生は3名である。2021年度予約奨学生が2名であったが、進路変更し辞退している。

なお、みやざき子ども未来奨学金には、企業・団体からの寄付が4件あった。

2. 学校のケース会議を起点とした子ども未来応援プロジェクト

宮崎市教育委員会等と協働して、学校等のケース会議に参画し事案解消に協力するとともに、支援対象の子どもたちに対するアフターフォローを担っている。宮崎大学教育学部と協働し、Swing-Byに専門相談員を配置し、各ケースの個票の整備と、家族支援にも対応できる体制を整えた。また、宮崎大学教育学部と協働によって、高鍋町・門川町、連携協定を締結している宮崎市の生活困窮家庭の子どもたちの学習支援事業に参画している。

ただし、令和2年に入り、新規ケース会議参画が減少しており、昨年度からの事例が主である。

[支援内訳]

小学生	1名
中学生	2名
高校生	9名
専門学校生	1名
大学生	2名
合計	14名

3. みやざき子ども未来応援フォーラム・ゼミナール

子どもの貧困の連鎖を断ち切るためには、子どもたちを私たちおとなに適応させるのではなく、子どもたちに合わせて私たちおとなが変わる必要がある。弱者の視点から現実を変えようとする幅広い活動から多角的に学び、子どもの貧困問題に真摯に向き合うために、定期的なゼミナールと広く共有するフォーラムを開催した。

ゼミナールには、教育関係者、福祉職、学生などがそれぞれの思いをもって参加される。参加者とともにケースを省察し、教育と福祉のとらえ方の違いや協働の必要性について考え、子どもたちの課題への向き合い方を学ぶ。このような学びの共有が、参加者にSwing-Byを身近に感じてもらえる機会となり、私たちにとっても、活動の意味を見つめ直すきっかけとなっている。

イベント名	実施日	参加人数
みやざき子ども未来応援フォーラム	ゼミナール 11回 ※別記詳細	107名
	フォーラム 1月25日(土)	118名
みやざき「演劇と教育」フォーラム2020	2月11日(火)	72名
	2月15日(土)	42名

[みやぎ子ども未来応援フォーラム]

【事例検討・ワークショップ】

前年度	4/20, 5/25 6/22, 8/3(土)	9:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討ワークショップ	計62名
第5回	10月5日(土)	9:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討ワークショップ	参加者:12名
第6回	12月7日(土)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	ワークショップ・事例検討	参加者:33名

[みやぎ子ども未来応援ゼミナール]

【事例検討・文献購読】

第1回	9月22日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:5名
第2回	10月13日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:10名
第3回	10月20日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:8名
第4回	11月3日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:3名
第5回	11月17日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:10名
第6回	11月24日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:7名
第7回	12月8日(日)	10:00-12:00	宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター	事例検討・文献購読	参加者:3名

4. Children First Camp プロジェクト

支援が必要な子どもたちに対する学習支援を行うとともに、多様な教育者と協働して、賛助会員の子どもを対象とした授業プロジェクトを行った。フライングスタートと呼ぶ予習型学習支援や学習集団づくりを視点としたチームビルディングを行いながら、子どもたちの他者性を育むとともに、「ほんもの」との出会いを創出している。

毎週金・日曜日開催の学習に加え、4月よりみやぎ子ども文化センターの協力を得て、月・水曜日の塾を開始した。新規入会を促進し、子どもたちが楽しく真剣に学ぶ時間を提供している。

また、宮崎県青島青少年自然の家と協働して行う、宿泊型 Children First Camp 「みらい Trip」を4回開催した。子どもたちが野外活動や飯ごう炊飯体験などを通し、信頼できるおとなとの関係構築と初めてのことに挑戦し冒険心を育んだ。

実施日	場所	参加者数 (名)	内容
2019年10月19日(土) 20日(日)	青島青少年自然の家	小中学生5・大学生4 引率1・ボランティア2	学習・飯盒炊飯(火起こし)プリン作り・アスレチック体験・
2019年11月23日(土) 24日(日)	宮崎大学 青島青少年自然の家	小中学生8・大学生5・ 引率1・ボランティア2	学習・買い出し及び食事作り・バーベキュー・科学技術館
2019年12月14日(土) 15日(日)	青島青少年自然の家	小中学生7・大学生5 引率1	学習・飯盒炊飯(食事作り)・乗馬体験
2020年1月18日(土) 19日(日)	青島青少年自然の家 トランポリンみやざき	小中学生4・大学生4 保護者1・引率1	学習・飯盒炊飯・トランポリン体験

5. 会員拡大、広報プロジェクト

法人のホームページを新規作成し、NPO法人としての情報公開をはじめた。また、寄付金や会員会費をクレジット決済する機能を追加し、いつでも誰でも気軽に寄付できる体制を整えた。

またホームページ認知を向上させ、コロナ禍でも安定した活動を維持するために、クラウドファンディング「ワンコインで子どもたちの未来が変わる!」マンスリーサポーター55人を大募集! キャンペーンを行なった。

[クラウドファンディング内容]

期 間	2020年5月5日(火)～6月13日(土)	40日間
方 法	ファンドレイジングシステムプラットフォーム Syncable	
人 数	62名(目標55名)	
月 額	76,000円/月 (毎月寄付される金額)	

貸借対照表

特定非営利活動法人Swing一By

令和2年8月31日現在

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	179,676		
普通預金	3,196,005		
流動資産合計		3,375,681	
2. 固定資産			
(1)その他の資産			
未収入金	15,000		
長期貸付金	862,250		
商品券	3,000		
固定資産合計		880,250	
資産合計			4,255,931
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,627,794		
前受金	60,000		
流動負債合計		1,687,794	
負債合計			1,687,794
III 正味財産の部			
1. 繰越金残高			
前期繰越金		1,007,543	
次期繰越金		1,560,594	
正味財産合計			2,568,137
負債及び正味財産合計			4,255,931

平成 31 年度 活動計算書

令和元年 9 月 1 日～令和 2 年 8 月 31 日

特定非営利活動法人 Swing－By

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費	2,107,500	2,107,500	
2. 受取寄付金	6,071,945	6,071,945	
3. 受取補助助成金等	639,092	639,092	
4. 事業収益	50,790	50,790	
5. その他収益	2,000,017	2,000,017	
			10,869,344

科目		金額	
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
		0	
	人件費計	0	
(2)その他経費			
		4,921,681	
	その他経費計	4,921,681	
			4,921,681
2. 管理費			
(1)その他経費			
		3,860,943	
	その他経費計	3,860,943	
			3,860,943
経常費用計			8,782,624
(2)経常外費用			
		526,126	
	経常外費用計	526,126	526,126
当期経常増減額			1,560,594
当期正味財産増減額			1,560,594
前期繰越正味財産額			1,007,543
次期繰越正味財産額			2,568,137